

## 小・中学校自家用電気工作物保守管理業務委託仕様書

1 業務名 小・中学校自家用電気工作物保守管理業務委託

2 履行場所

東海村白方2009	白方小学校
東海村照沼905-2	照沼小学校
東海村村松2124-8	中丸小学校
東海村石神外宿1055	石神小学校
東海村舟石川690-1	舟石川小学校
東海村村松1443-2	村松小学校
東海村舟石川825-12	東海中学校
東海村船場784-7	東海南中学校

3 委託期間 令和4年4月1日から令和7年3月31日まで

4 対象設備

施設名	受電設備		月次点検頻度	備考
	設備容量 (kVA)	受電電圧 (V)		
白方小学校	1,600	6,600	隔月	太陽電池発電あり 200V,30kw
照沼小学校	500	6,600	隔月	太陽電池発電あり 200V,50kw
中丸小学校	900	6,600	隔月	
石神小学校	1,200	6,600	隔月	太陽電池発電あり 200V,10kw
舟石川小学校	300	6,600	隔月	
村松小学校	180	6,600	隔月	
東海中学校	800	6,600	隔月	
東海南中学校	770	6,600	隔月	

5 点検頻度・内容（月次点検、年次点検の内容は別表のとおり）

①月次点検 隔月1回（上記のとおり）

※各学校に絶縁監視装置を設置した上で、設備条件確認書と保安規程変更届出書を関係機関へ提出すること。

なお、絶縁監視装置に係る費用は受注者の負担とする。

②年次点検 毎年1回（原則夏季休業中に実施）

- ③臨時点検 電気事故その他異常の発生時や異常が発生する恐れがあると判断したとき

## 6 業務内容

実施する保安管理業務は、次の各号によるものとする。

- (1) 4に掲げる対象設備の維持及び運用について、別表に示す方法で点検、測定及び試験を行う。また、経済産業省令で定める技術基準の規定に適合しない事項及び適合しない恐れがある場合は、とるべき措置について報告する。
- (2) 電気事故その他電気工作物に異常が発生し又は発生する恐れがある場合に通知を受けたときは、事故原因を探し応急措置を助言し、再発防止につきとるべき措置について報告するとともに、必要に応じて電気事業法第106条に基づく電気関係報告規則に定める電気事故報告の作成及び手続きの助言を行う。
- (3) 絶縁監視装置は漏電監視機能があるもので、発注者が漏電発生等の異常を自社で早急に把握できるものを設置すること。また、絶縁監視装置からの警報を受けた場合の通信設備の設置費用及び通信に係る費用は受注者で負担すること。
- (4) 絶縁監視装置からの警報を受けた場合、発注者及び学校へ早急に連絡し当該電気工作物の状態を確かめるとともに、必要に応じ保安業務従事者が点検を行うなど、「絶縁監視装置及び警報発生時の応動に関する説明書」により適切に対処する。
- (6) 電気事業法第107条第2項に規定する立入検査の立会いを行う。
- (7) 対象設備の自家用電気工作物の工事、維持及び運用に関する経済産業大臣への提出書類及び図面について、その作成及び手続きの助言を行う。
- (8) 対象設備の自家用電気工作物の設置又は変更の工事について、設計の審査及び竣工検査を行い、必要に応じてとるべき措置について報告を行う。
- (9) 対象設備の自家用電気工作物の設置又は変更の工事について、通知を受けた場合に工事中の点検を行い、必要に応じてとるべき措置について報告を行う。
- (10) その他保安規程に定められている事項
- (11) 絶縁監視装置について、設置料及び契約期間満了または中途解約に伴う撤去料は、すべて受注者の負担とする（履行開始の準備及び履行完了の撤去の期間に係る費用も含むものとする）。

## 7 厳守事項

- (1) 業務開始に当たっては、事前に「業務工程表」を発注者に提出し、発注者の承認を受けてから実施すること。
- (2) 業務開始に当たっては、円滑な業務の遂行及び事故防止のため、「業務着手及び管理技術者等選任（改任）通知書」を提出し、発注者の承認を受けてから実施すること。また、管理技術者及び照査技術者は、法令及び基準に従った点検・整備を行うため、電気主任技術者などの資格を有する者とする。
- (3) 業務開始に当たっては、事前に安全対策を講じるものとし、関連法令に抵触しないよう計画すること。
- (4) 業務に従事する者には、胸章、作業衣を着用させること。

(5) 各業務の報告書は、発注者へ書面をもって速やかに提出すること。

#### 8 その他

本仕様書に定めるほか、詳細については担当者と打合せの上決定し、業務に疑義が生じた場合は、担当者と協議の上決定するものとする。

## 別表

点検、測定及び試験の基準等（月次点検及び年次点検）

## 1 需要設備

電気工作物		点検方法	月次点検	年次点検
受電設備 (第二受電設備以降を含む)	責任分界となる区分 開閉器引込線等 (架空電線, 支持物) (ケーブル)	外観点検	○	○
		絶縁抵抗測定		○
		区分開閉器動作試験		○
		保護継電器動作試験		○
		保護継電器動作特性試験		○
	断路器	外観点検	○	○
		絶縁抵抗測定		○
	遮断器 開閉器	外観点検	○	○
		絶縁抵抗測定		○
		動作試験		○
		内部点検		○
		絶縁油の点検・試験		○※1
	電力ヒューズ	外観点検	○	○
		絶縁抵抗測定		○
	計器用変成器	外観点検	○	○
		絶縁抵抗測定		○
	変圧器	外観点検	○	○
		絶縁抵抗測定		○
		内部点検		○
		絶縁油の点検・試験		○※1
	電力用コンデンサ	外観点検	○	○
		絶縁抵抗測定		○
	避雷器	外観点検	○	○
		絶縁抵抗測定		○
	母線	外観点検	○	○
		絶縁抵抗測定		○
	その他高圧機器	外観点検	○	○
		絶縁抵抗測定		○
	配電盤 制御回路	外観点検	○	○
		絶縁抵抗測定		○
		保護継電器動作試験		○
		保護継電器動作特性試験		○
		計器校正試験		○
		制御回路試験		○
	受電設備の建物・室 キュービクルの金属箱	外観点検	○	○
	接地装置	外観点検	○	○
		接地抵抗測定		○

電気工作物		点検方法	月次点検	年次点検
配電設備	配電線路 (架空電線, 支持物 ケーブル)	外観点検	○	○
		絶縁抵抗測定		○
	断路器, 遮断器, 開閉器, 変圧器, 計器用変成器, 電力用コンデンサ その他高圧機器	外観点検	○	○
		絶縁抵抗測定		○
		内部点検		○
		絶縁油の点検・試験		○※1
	設置装置	外観点検	○	○
		接地抵抗測定		○
非常用予備発電装置	原動機付属装置	外観点検	○	○
		始動試験	○※2	○※2
		機関保護継電器動作試験		○
	発電機 励磁装置 設置装置	外観点検	○	○
		絶縁抵抗測定		○
		接地抵抗測定		○
	遮断器, 開閉器 配電盤, 制御装置等	外観点検	○	○
		保護継電器動作試験		○
		保護継電器動作特性試験		○
		制御装置試験		○
		その他は受電設備に準ずる		
蓄電池設備	本体	外観点検	○	○
		液量点検	○	○
		電圧・比重測定		○
		液温測定		○
	充電装置 付属装置 接地装置	外観点検	○	○
		絶縁抵抗測定		○
の電気使用場所	電動機類, 電熱装置 電気溶接機 証明装置 配線, 配線器具 その他の機器 接地装置	接地抵抗測定		○
		漏洩電流測定	○	○
		絶縁監視	常 時	

- (1) 「外観点検」とは、主として目視により点検すること。
- (2) ※1を付した項目は、PCB 混入のおそれがある場合は試験を省略してもよい。
- (3) ※2を付した項目は、点検頻度が隔月点検又は3ヶ月毎点検の場合、業務者が行うほか、業務者の指導を受けて発注者が必要に応じて実施する。
- (4) 「漏洩電流測定」は、監視装置を設置していない場合に、高圧受配電設備の変圧器のB種接地工事の接地線において測定する。
- (5) 「絶縁監視」とは、変圧器のB種接地工事の接地線に監視装置を設置している場合、低圧電路の絶縁状態を監視することをいう。

## 2 太陽電池発電

電気工作物	点検方法	月次点検	年次点検
太陽電池アレイ	外観点検	○	○
	機関の調整		○
	接地抵抗測定（架台等）		○
接続箱	外観点検	○	○
	絶縁抵抗測定（必要に応じ）		○
	放射温度計による温度測定（必要に応じ）		○
	接地抵抗測定		○
遮断器，開閉器 変圧器，配電盤， 制御装置， 直交流変換装置	外観点検	○	○
	絶縁抵抗測定		○
	接地抵抗測定		○
	保護機能動作確認		○
	表示部の動作確認	○	○
系統連系保護装置	外観点検	○	○
	絶縁抵抗測定		○
	保護継電器動作試験		○
	投入ロック動作試験		○
蓄電池等	外観点検	○	○
	液量点検	○	○
	電圧・比重・液量測定		○
	絶縁抵抗測定（必要に応じ）		○
	接地抵抗測定（架台等）		○
電路	絶縁抵抗測定		○

（１）「外観点検」とは，主として目視により点検することをいう。

参考資料

経済産業省告示に基づく需要設備の設備条件と点検頻度

- (1) 次のアからオまでの設備条件のすべてに適合する設備容量が100キロボルトアンペア以下（小規模高圧需要設備を除く）のもの又は低圧受電の需要設備については、隔月1回以上
  - ア 構外にわたる高圧電線路がないもの
  - イ 柱上に設置した高圧変圧器がないもの
  - ウ 高圧負荷開閉器（キュービクル内に設置するものを除く。）に可燃性絶縁油を使用していないもの
  - エ 保安上の責任分界点又はこれに近い箇所に地絡保護継電器付高圧交流負荷開閉器又は地絡遮断器が設置されているもの
  - オ 責任分界点から主遮断装置の間に電力需給用計器用変成器，地絡保護継電器用変成器，受電電圧確認用変成器，主遮断器用開閉状態表示変成器及び主遮断器操作用変成器以外の変成器がないもの
- (2) (1) に適合する需要設備であって、かつ、次のアからウまでのすべての設備条件に適合するものについては、3ヶ月に1回以上
  - ア 受電設備がキュービクル式であるもの（屋内に設置するものに限る。）
  - イ 蓄電池設備又は非常用予備発電装置がないもの
  - ウ 引込施設に地絡保護継電器付高圧交流負荷開閉器又は地絡遮断器が設置してあるもの
- (3) (1) のアからオまでの設備条件全てに適合する信頼性の高い設備であって、絶縁監視装置を設置している需要設備については、隔月1回以上
- (4) 上記(1)，(2)及び(3)以外の需要設備にあっては、毎月1回以上



この書は、長城の歴史と文化を、  
その建築と芸術の観点から、  
詳しく解説したものである。

本書は、長城の歴史と文化を、  
その建築と芸術の観点から、  
詳しく解説したものである。

本書は、長城の歴史と文化を、  
その建築と芸術の観点から、  
詳しく解説したものである。

本書は、長城の歴史と文化を、  
その建築と芸術の観点から、  
詳しく解説したものである。

